JBPA 識別表示制度　製品サーベイランス報告

2025 年度 基準適合試験の実施結果

2026 年 11 月
一般社団法人 日本バイオプラスチック協会
識別表示委員会

ロゴマーク取得後の表示内容と製品の基準適合性を継続的に確認しています

日本バイオプラスチック協会 (JBPA) は、識別表示制度の信頼性の維持・向上を図るため、市場及び申請者からロゴマーク表示製品を収集し、表示方法と申請内容との整合性を確認しています。
2025 年度は 3 種類のロゴマークの計 28 製品を対象に、表示方法の確認と、ロゴマークの種類に応じた第三者分析機関による^{14}C 分析又は FT-IR 分析を実施しました。結果を以下に示します。

1. JBPA が確認する内容と方法

対象ロゴマーク	件数	確認する内容	確認方法と目的
3 種類のロゴマーク (共通)	28 製品	ロゴマーク表示方法	規程・基準に沿った表示かを確認
バイオマスプラマーク	15 製品	バイオベース炭素含有率	^{14}C 分析でバイオベース炭素含有率を測定し、申請内容との整合性を確認
生分解性プラマーク 海洋生分解性プラマーク	13 製品	製品の材料組成の同一性	FT-IR スペクトルを登録済み標準データと照合し、材料組成の同一性を評価。今後の照合に用いる標準データも蓄積中

<分析方法・機関>
・^{14}C 分析（バイオベース炭素含有率）：ASTM D6866-24a/SGS Beta 社（地球科学研究所）
・FT-IR 分析：(株)三井化学分析センター
（※FT-IR 分析は、材料組成を照合するもので、生分解性能を直接測定する試験ではありません）

2. 分析試験結果と確認後の対応

2.1. バイオマスプラマーク

15 製品の ^{14}C 分析を実施し、一部の再分析を含めて申請内容との整合性を確認しました。なお、うち 1 製品については 2026 年度に再確認を実施します。別の 1 製品については、最終顧客製品における「部分限定」表示の取扱いを確認し、制度運用の見直しにつなげました。

2.2. 生分解性プラマーク・海洋生分解性プラマーク

13 製品のうち 8 製品については、今後の照合に用いる FT-IR 標準スペクトルを測定し、データベースに登録しました。登録済みの標準データと照合した 5 製品のうち、4 製品は同一性合致率 80％以上の基準を満たしました。残る 1 製品は合致率が 80%未満でしたが、申請者への照会によって配合変更を確認し、変更前後とも申請時の原料組成範囲内であることを確認しました。

3. ロゴマーク取得後のサーベイランスによる制度の信頼性向上へ

JBPA は、分析結果に差異がある場合の再分析や申請者への照会に加え、翌年度の再確認や標準スペクトルの蓄積を進めています。今後も、ロゴマーク取得後の継続的な基準適合試験と制度運用の改善を通じて、識別表示制度の透明性・信頼性とサーベイランスの実効性を高めてまいります。

以上

本件に関する問合せ
JBPA 識別表示委員会事務局　駒谷
Email: markjbpa@jbpaweb.net
Tel: 03-5651-8151